



あなただけのストーリーを伝える

エレベータースピーチの組み立て方

エレベータースピーチとは、クラブ入会に関心を持ってもらうために 30 秒ほどで手短かにストーリーを伝える会話術です。データや数字の羅列ではなく、自分にとってライオンズがどんな存在であるか、そして自分の所属するクラブがどのように社会の役に立っているかを中心に話しましょう。完璧でなくても大丈夫。誠実に、まごころを込めて伝えましょう。

ステップガイド:

1. あなたについて

まず、自分とクラブについて、気さくに自己紹介をしましょう。

例:「こんにちは。来恩花子です。東岸ライオンズクラブのメンバーです」

2. ライオンズで人生がどのように変わりましたか？

個人的にライオンズから得たものについて話しましょう。例えば以下のような例が挙げられます。

- 自分の居場所を見つけた
- 生涯の友人ができた
- 人脈づくりや、先輩との出会い、役職を務めることなどによって得た、個人としての成長や仕事に活かせる経験

例(自分の居場所):「転居してきた時は知り合いが一人もいなかったんですが、クラブに入会して、家族ぐるみで親身になってくれる人たちに出会えました。今ではクラブの仲間が一番の友達です。」

3. あなたのクラブではどのような奉仕を行っていますか？

次に、クラブの社会奉仕活動について、簡単に話しましょう。自分が誇りに思う事業を思い出してください。

例:「あそこの公園に新しい遊具が入りましたよね？私たちのクラブが資金を集めて援助したんです。あそこで遊ぶ子どもたちの姿を見るたびに、ライオンズに入って良かったと思います。」

4. 相手の話も引き出す

最後に、相手の関心事を引き出す質問をしてください。共通の話題を見つけることができ、入会について話す際に役立ちます。

例:「あなたはどんなボランティアに興味がありますか？」「やりがいのあるボランティア活動をしたことはありますか？」

自分らしく！

大切なのは、そつのないスピーチをすることではなく、あなたがライオンズとして活動する理由を伝えることです。真摯に、シンプルに、かつ何より、あなたの社会奉仕への熱い思いが伝わるように話しましょう。